

～地域包括支援センターだより～

みんな笑顔

第4号 令和元年 6月

発行

由利本荘市地域包括支援センター
広域行政センター 2階
電話 24-6345

～活動紹介～

南部地域包括支援センター

南部地域包括支援センターは矢島総合支所内にあり、矢島・由利・鳥海地域を担当しています。住み慣れた地域で安心して生活できるように、介護保険サービスの利用や、生活の身近な困りごとなど、高齢者の皆さんやご家族の相談に応じております。

また、地域のミニデイ・サロン・集会などに出向かせていただき、介護予防の講話や認知症サポーター養成講座などを開催したり、昨年度は「認知症予防教室」「駅ナカカフェ」「城下町サロン」などを実施いたしました。今後サロンなどの開設、介護予防教室や宅配講座を希望する地域がございましたら、お気軽にご連絡ください。



城下町サロンでの健康体操



スーパーの職員のみなさんと
認知症サポーター養成講座

地域ミニデイサービス

東由利 大蔵部ミニデイ
お茶っこの会

町内会が自主的に開催する
高齢者の集いの場です

大蔵館を会場に毎週木曜日9時～15時まで「お茶っこの会」が行われています。9年目となり、活動の中心は伊東健一郎さん・ハツ子さんご夫婦です。皆さん時間になると押し車を押ししたり、自転車やバイクなどで集まってきます。畑が気になるからと途中で抜けたり、用事を終えてから参加したりと自由な雰囲気です。皆さん大の花好きで、年2回の屋外研修はお花の鑑賞に出かけています。普段は田んぼや畑仕事をしていますが、「お茶っこの会」の日だけは畑仕事はお休みです。皆さん「(仲間が)会に来ないと心配になる」「(同じ町内でも)普段は挨拶する程度なので、ここに来て話をするのが楽しみだ」と口をそろえていました。どうやら「お茶っこの会さ行ごな」が仲間たちの挨拶になっているようです。



本日は旬の
ワラビが
おやつでした



山菜を採ってきた話、野菜の育て方についてベテランさんに聞いたり、日頃のたわいもない出来事やニュースの話題で話は尽きず、「ゆっくりできる所でもあるし大事な場所だ」と話されていました。

「出来ることは自分でやる」がモットーで、マイカップを持ってくる、ゴミは持ち帰る、昼食は各自弁当を持ってきて食べる、などそれぞれ参加者が主体的に参加している、自宅の居間にいるような笑いの絶えない「お茶っこの会」でした。

認知症サポーター養成講座 IN カダーレ 開催しました



『認知症サポーター養成講座をご存じですか？』
この講座は、「認知症を知り地域を知るキャンペーン」として全国的に取り組んでいる講座です。由利本荘市では2009年から開催し、今年の3月末現在で9,672人のサポーターを養成しています。今回は一般の方を対象に、4月22日由利本荘市文化交流館カダーレにて開催し、42名の参加をいただきました。



認知症の方の生の声を紹介したり、ちょっとした脳トレを皆で行ったりしながら和やかな講座となりました。

今後も、一人でも多くの方に認知症を理解していただき、認知症の方や家族を見守り、安心して暮らせる由利本荘市を皆さんと一緒に築き上げて参ります。「認知症サポーター養成講座」は町内会や職場、サークル等どこにでも出向きますので地域包括支援センターまでお問い合わせください。

認知症の人が住みやすい地域を目指して

☆認知症を正しく理解し、地域で支えていきましょう☆

認知症の方の見守り体制として『認知症高齢者等見守り・SOSネットワーク事業』があります。

認知症になると道に迷ったり、家がどこかわからなくなったりすることがあります。この事業は、徘徊のおそれがある方を事前に登録しておくことで、実際に行方不明になった時に、地域の支援で早期に発見するためのネットワークです。

地域に気になる方がおりましたら、
気軽に地域包括支援センターまで
ご相談下さい。



このステッカーが協力事業所の目印です。

ちよこつと脳トレ！！

カタカナを並び替えて2つの単語を作ってください。

- ① トトレスマタ
- ② イメンスロカ
- ③ ゴイミンチカ
- ④ ンキサリウギ
- ⑤ ウマウシシマ
- ⑥ ンンバベカギ

ヒント：1～3は野菜・果物
4～6は動物です。
答えは下にあります

【問い合わせ先】



由利本荘市地域包括支援センター

北部地域包括支援センター(岩城・大内)

中央地域包括支援センター(本荘・東由利・西目)

南部地域包括支援センター(矢島・由利・鳥海)

☎ 24-6345

☎ 74-6888

☎ 24-6324

☎ 74-4150